

令和 8 年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

宮古島市立西城小学校への木育

9 月 10 日（木）

令和 8 年 9 月 10 日に宮古島市立西城小学校 1、2 年生児童（20 名）を対象とした木育を行った。

内容は「森の役割」と「木について」の座学と校庭の樹木観察を行った。

「森の役割」については、県が作成した沖縄の森林に関する動画を視聴し、その後、より児童にも身近な森の役割を理解してもらえよう、パワーポイントで作成された資料を用い宮古島の水源涵養林や防風林についても分かりやすく紹介した。座学の振り返りとして、県で作成したワークシートを黒板にひろげ、児童にも発表形式で木の絵を描いてもらいながら、一緒に森の役割について理解を深めた。

「木について」は、リュウキュウマツ種子が落ちていくスロー動画と種の模型を用いた木の名前あてクイズなどを出題し、沖縄にどのような木があるかを紹介した。実物を用いたドングリの木の紹介では、初めてどんぐりをみた児童が多く、「ドングリ、食べてみたい」や「どこにドングリの木があるの？拾いたい」などの声が挙がり反応も大きかった。

校庭の樹木観察では、それぞれの樹木の名前や特徴、木材断面のサンプルも用いての色の違いなどの説明を行い、児童も熱心にメモを取りながら説明を聞く様子がみられた。

木育後、児童からは「イヌマキって、なぜイヌマキって名前なの？」や「木の名前が知れて楽しかった」などの質問、感想が挙がり、木や森により親しみや興味をもってもらう機会となった。

今後も沖縄県の森林・林業に係る普及啓発に努めていきたい。



（報告者：宮古農林水産振興センター 玉城、仲宗根、島袋）